

専攻 ライフスタイル学科／家政学専攻	所感																																																						
氏名 丹羽 誠次郎	日頃は忙しさにまかして省みることが少なかった自身の教育活動を俯瞰する機会を得ることができた。授業が学生の成長につながるように科目毎には少しずつ工夫を加えてきたものの、「教育の理念と目的」に掲げた理想に現実が追いついていないと思う。2020年度は幾つかの担当科目がリモート授業へ切り替わったため、新たな教材準備に多くの時間を割くことになったが、この大きな見直しによって授業の運営方法に新たな可能性も見いだすこともできた。																																																						
家政学部家政学科の教育目標は、本学の教育目標と教育方針の下、「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神の実践を通して社会的に自立して生きていく上で必要な①スキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能と②家政に関する専門的知識・技能と③建学の精神・社会人基礎力・pisa型学力を統合的に身に付け、社会に出てからは、これらの知識・技能をベースに生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域の課題解決に貢献できる人材を育成することである。																																																							
イ 家政学専攻の教育目標は、家政学部の教育目標の下、これからの社会の新しいライフスタイルのデザインを提案することによって、人々の日常生活を衣・食・住の面から支援することのできる人材を育成することである。																																																							
ロ 管理栄養士専攻の教育目標は、家政学部の教育目標の下、管理栄養士の資格を生かして、チーム医療、健康増進・疾病予防、食育・栄養指導又は健康をテーマにした食品の研究・開発等で活躍することによって、人々の日常生活を健康の面から支援することのできる人材を育成することである。																																																							
ハ こどもの生活専攻の教育目標は、家政学部の教育目標の下、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の資格を生かして、子どもたちの学力および社会性・社会力の基礎・基本を育てることによって、人々の日常生活を子育ての面から支援することのできる人材を育成することである。																																																							
1 教育の責任																																																							
私は家政学部家政学科家政学専攻／ライフスタイル学科の前身である生活文化コースの助手として着任した1994年以来、27年間学生の指導に当たってきた。その中で、2020年度はオムニバス科目を含めて合計17科目担当した（添付資料1）。単独での担当は家政学専攻／ライフスタイル学科の専門科目のうち住分野とデザインに関する科目であるが、その他に専攻主任として家政学専攻のカリキュラムの軸となっている「キャリア形成（ライフスタイル学演習）関連科目」「生活スタジオ関連科目」全体の調整を行なっている。また、オープンキャンパスでのミニ授業や出前授業、学外での公開講座も積極的に行なっている（添付資料2）。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名</th> <th>専攻・学科</th> <th>開講期</th> <th>受講者数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ライフスタイル学基礎講座</td> <td>ライフスタイル</td> <td>1年前期(2020)</td> <td>44</td> <td>オムニバス</td> </tr> <tr> <td>ライフスタイル学演習Ⅰ</td> <td>ライフスタイル</td> <td>1年前期(2020)</td> <td>44</td> <td>オムニバス</td> </tr> <tr> <td>住生活論</td> <td></td> <td>1年前期(2020)</td> <td>44</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ベーシックデザイン</td> <td>家政学</td> <td>2年前期(2020)</td> <td>24</td> <td></td> </tr> <tr> <td>インテリアデザインⅠ(住宅)</td> <td>ライフスタイル</td> <td>1年後期(2020)</td> <td>46</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域の暮らしと生産</td> <td>ライフスタイル</td> <td>1年後期(2020)</td> <td>17</td> <td>複数教員で担当</td> </tr> <tr> <td>PC活用Ⅰ</td> <td>家政学</td> <td>2年後期(2020)</td> <td>8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生活スタジオ入門</td> <td>家政学</td> <td>2年後期(2020)</td> <td>26</td> <td>複数教員で担当</td> </tr> <tr> <td>他9科目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	科目名	専攻・学科	開講期	受講者数	備考	ライフスタイル学基礎講座	ライフスタイル	1年前期(2020)	44	オムニバス	ライフスタイル学演習Ⅰ	ライフスタイル	1年前期(2020)	44	オムニバス	住生活論		1年前期(2020)	44		ベーシックデザイン	家政学	2年前期(2020)	24		インテリアデザインⅠ(住宅)	ライフスタイル	1年後期(2020)	46		地域の暮らしと生産	ライフスタイル	1年後期(2020)	17	複数教員で担当	PC活用Ⅰ	家政学	2年後期(2020)	8		生活スタジオ入門	家政学	2年後期(2020)	26	複数教員で担当	他9科目								
科目名	専攻・学科	開講期	受講者数	備考																																																			
ライフスタイル学基礎講座	ライフスタイル	1年前期(2020)	44	オムニバス																																																			
ライフスタイル学演習Ⅰ	ライフスタイル	1年前期(2020)	44	オムニバス																																																			
住生活論		1年前期(2020)	44																																																				
ベーシックデザイン	家政学	2年前期(2020)	24																																																				
インテリアデザインⅠ(住宅)	ライフスタイル	1年後期(2020)	46																																																				
地域の暮らしと生産	ライフスタイル	1年後期(2020)	17	複数教員で担当																																																			
PC活用Ⅰ	家政学	2年後期(2020)	8																																																				
生活スタジオ入門	家政学	2年後期(2020)	26	複数教員で担当																																																			
他9科目																																																							
2 教育の理念と目的																																																							
「これからの社会の新しいライフスタイルのデザインを提案」できるように、大学4年間の学びでその基礎を築き、さらに卒業後も学び続け、成長し続けられる人になってもらうことが、最終的な目的である。そしてその「新しいライフスタイル」は美しく豊かなものでなければならない。「美しい」ものにたくさん触れ、「美しさ」を理解し、「美しい」表現ができるようになる-学生たちにそのきっかけを与えることが私の役割だと考えている。																																																							
3 教育方法																																																							
私の担当する科目は、個人で担当する科目（住生活論、インテリアデザイン、ベーシックデザイン、PC活用Ⅰ、Ⅱ）と複数教員で担当する科目（生活学基礎講座、キャリア形成関連科目、生活スタジオ関連科目）に分けることができる。個人で担当する科目の実習・演習等の授業で課題を設定する際には、学生が自分ごととして取り組めるような内容を心掛けている（添付資料3）。また、それぞれの課題を進めるにあたって、ソースとなる参考事例を集めさせて、その情報を受講生同士が共有する機会を授業時間内に設けている（添付資料4）。また、プレゼンテーションと受講生相互の講評を行うことで、成果物のデザインコンセプトや手法を言語化することを求めている（添付資料5）。																																																							
4 授業改善の活動																																																							
ここ数年、学生の発言や発表の機会が多くなるように、授業改善を進めている。また、「ベーシックデザイン」の実習では2017年度にグループワークを取り入れた課題内容に大きく変更を行ったが、成果は芳しいものでなかったため、一旦、旧来のスタイルに戻し、2019年度に別の形のグループワークを設定した（添付資料5）。2020年度前期は、コロナ禍の状況で、多くの科目をリモート授業に切り替えなければならず、その準備に奔走させられた。しかし、遠隔でも授業内容がしっかりと把握できるように共催の充実を図った。また基礎的な造形訓練を行う「ベーシックデザイン」の実習もリモートで行わなければならなくなったため、授業時間の多くを講評に充てる反転授業に近い方式を採用した。授業時間内での作業時間を大幅に削ったことと、リモートでも指導可能なことを考慮し1課題ずつの内容を簡素化した。																																																							
5 学生の授業評価																																																							
2020年度の後期の授業評価は添付資料のとおりである（添付資料6）。個人で担当した2科目（「インテリアデザインⅠ（住宅）」、「PC活用Ⅰ」）の授業運営に関する質問項目に関する学生の評価ポイントはそれぞれ、4.1～4.3と4.2～4.6であり、概ね良好な授業運営ができていたと考えられる。ただし「インテリアデザイン」については対して前年度の同科目に対する評価ポイント（4.6～4.7）を大きく下回る結果となっている。今年度は受講者数の増加に伴い2クラスに分けての開講としたため、1クラスずつの受講者数は減少人数でのより細やかな指導を行ったが学生の評価には繋がらなかった。その背景には新型コロナウイルス感染症への対策が授業内でのコミュニケーションに影響を及ぼしていることも考えられる。																																																							
6 学生の学修成果																																																							
学生たちの学修成果を顕著に見いだすことができるのは家政学専攻での学修を総合して取り組むプロジェクト型の授業「生活スタジオ」での実践である。2015年度より始まったこの取り組みは、学生の主体性を伸ばさせることができている。その成果は学内で行われている『学びの泉』グランプリ（旧称：社会人基礎力育成グランプリ大会）で報告され、5年連続で最優秀賞を獲得している。また、「PC活用Ⅰ」で学生たちが編集した『生活練習帳』（丹羽担当）は「キャリア形成Ⅰ～Ⅲ」の成果を確認することができる（添付資料7）。																																																							
7 授業科目に関連した教材開発																																																							

4～5週で1課題を完成させる「ベーシックデザイン」では課題毎に全体の見通しができるようなシートを作成している。逆に半期15週で1課題を作り上げる「インテリアデザイン」では、最初に全体の見通しを示したのち、課題を完成させるまでの各ステップでシートを配布している。

8 指導力向上のための取り組み

2016年度、2017年度に愛知学泉大学学内G Pにそれぞれ「観察から記述へー「書く力」育成プログラムの開発-」、「家政学専攻版「暮らしの手帖」を作る-感性と書く力の育成-」を申請し、採択された（添付資料10）。そこでは、山田と丹羽を中心に、雑誌「暮らしの手帖」の記事をひとつのモデルとして、家政学専攻教員全員の協力のもと、「感性」と「書く力」を同時に育成することを目標に授業に取り組んだ。2020年度にはスタジオ関連科目において学生の主体性を発揮させるために「足場かけツールの研究・開発・活用」に山田とともに着手し、同内容を愛知学泉大学学内G Pへ申請、採択されている。

9 今後の目標

私の所属する「家政学専攻」は2020年度より「ライフスタイル学科」へと改組された。そこでは家政学専攻で掲げていた教育目標をさらに明確にし、学生たちが卒業後のビジョンをしっかりと持てるようなカリキュラムの修正は行われているものの、教育の軸となっている「キャリア形成Ⅰ～Ⅲ（ライフスタイル学演習Ⅰ～Ⅲに改称）」と「生活スタジオ入門、生活スタジオ（スタジオ入門、スタジオA,B,Cに改称）」はそのまま存続することとなっている。家政学専攻主任／ライフスタイル学科長の立場からこれらの科目のさらなる充実を図ることと、（自身の担当する科目も当然含め）各専門科目との関連を強化し、専攻／学科の教育プログラムが有機的に機能するように検討を加えていくことが求め続けられる。

10 添付資料

添付資料1「シラバス」、添付資料2「公開講座チラシ」、添付資料3「授業プリント1」、添付資料4「授業プリント2」、添付資料5「授業プリント3」
添付資料6「授業評価アンケート結果」、添付資料7『生活練習帳2020』、添付資料8「授業プリント4」、添付資料9「授業プリント5」、添付資料10「愛知学泉大学学内G P申請書」

愛知学泉大学ティーチングポートフォリオ